

# 小学校図画工作科における教育課程の実質化の事例と考察

—小学校図画工作科での実践を通して—

福田 哲郎\*・小田佐也加\*\*

Putting the Elementary School Art and Crafts Curriculum into Practice:  
A case study of classroom activities

FUKUDA Tetsuro\*, ODA Sayaka\*\*  
(Received January 8, 2013)

キーワード：図画工作、教育課程、小学校、実質化

## はじめに

平成20年に改訂された学習指導要領が、小学校において完全実施されて2年が経過した。図画工作科においては、目標に「感性」を加えたこと、内容の構成を整理し、項目と事項の関係を明確にしたこと、表現及び鑑賞の各活動において共通に必要な資質や能力を〔共通事項〕として示したことなどが特徴として挙げられる。本稿は、新たな教育課程の実質化について、指導計画や教材の中に学習指導要領をどのように反映させていくかについて、事例を提示して述べ、その方法について一考する。

## 1. 小学校図画工作科の平成20年学習指導要領の改訂のポイント

教育課程の方針に基づき、図画工作科の学習指導要領では次のような視点で改訂が行われている。

- ①教科の目標では、「感性を働かせながら」を加え、児童が感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育成することを一層重視する。学年の目標では、造形への関心や意欲、態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力などの育てたい資質や能力をより明確に示す。(目標の改善)
- ②「A表現」の内容を「(1)材料を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。」、「(2)表したいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。」とし、内容を発想や構想の能力と創造的な技能の観点から整理する。(表現領域の内容構成の改善)
- ③「B鑑賞」を「(1)作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。」として、鑑賞の能力や言語活動の観点から整理して示す。(鑑賞領域の内容構成の改善)
- ④表現及び鑑賞の各活動において、共通に必要な資質や能力を〔共通事項〕として示す。指導において、自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これを基に自分のイメージをもつことが十分に行われるようにする。(〔共通事項〕の新設)
- ⑤「B鑑賞」の各学年の内容に「話したり、聞いたりする」、「話し合ったりする」などの学習活動を位置付け、言語活動を充実する。(言語活動の充実)
- ⑥内容の取扱いに、各学年で取り扱う材料や用具を、手などを十分に働かせるなどの指導の配慮事項とともに示す。鑑賞については、児童や学校の実態に応じて、美術館などを利用したり、連携を図ったりすることなどに配慮する。(材料の取扱いや鑑賞指導における美術館との連携)

②の表現領域の内容構成の改善については、「材料を基に造形遊びをする」と「表したいことを絵や立体、

\*山口大学教育学部附属光小学校 \*\*山口大学教育学部附属山口小学校

工作に表す」の二つの側面から児童の資質や能力を育てようとするものであるが、児童は表現しながら常に鑑賞の能力を働かせていることに配慮するよう示されている。

③の鑑賞領域の内容構成の改善については、表現と鑑賞は相互に関連して働き合うものとしてとらえ、鑑賞の活動や作品などの対象を幅広く考える必要があることが示されている。

以下では、小学校図画工作科の年間指導計画と、各学年における実践事例を採り上げて、教育課程実質化について、その方法を考える。

## 2. 年間指導計画と学習指導要領

### 2-1 年間指導計画の作成

『小学校学習指導要領解説 図画工作編』（平成20年8月 文部科学省）における「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」に照らし合わせ、山口大学教育学部附属山口小学校・光小学校の両校で採用している教科書の題材と、各校独自の題材を、表1～6のように配列した。以下、年間指導計画作成のポイントを述べる。下線部は、「3. 具体的な教材」で紹介する題材である。

表1. 第1学年

学期	月	題 材【領域】（時間）			
前 期	4	オリエンテーション【鑑賞】（1） おひさま にこにこ【絵】（2）★国語 みんなでかざろう【工作】（2）			
	5	ねんどでつみき【立体】（2） すなやつちとなかよし【造形遊び】（2）★生活 どんなかたちのかみにも【絵】（4）			
	6	おってたててゆめのまち【工作】（6） ドアのむこうに【絵】（2）			
	7	クッキーやさんになろう【立体】（6）			
	8 9	ならべてつんで【造形遊び】（2） <u>えのぐをつかって【造形遊び】（2）</u>			
後 期	10	かんじたこと、おもったこと【絵】（4） いろいろペッタン【造形遊び】（4）			
	11	いろいろペッタンでえをかこう【絵】（2） かげをうつして【鑑賞】（3）			
	12	なにになるかな【造形遊び】（2） はこのなかまたち【立体】（4）★算数			
	1	びじゅつかんにいこう【鑑賞】（2） <u>プレゼントをどうぞ【工作】（6）★生活</u>			
	2	ニョキニョキとびだせ【工作】（6）			
	3	おはなしだいすき【絵】（4）★国語			
時数合計	6 8				
	造形遊び	1 2	絵	1 8	
	立 体	1 2	工 作	2 0	
	鑑 賞	6	★他教科等との関連		

表2. 第2学年

学期	月	題 材【領域】（時間）			
前 期	4	オリエンテーション【鑑賞】（1） かたちやいろをたのしもう【絵】（1） 大きなかみで【造形遊び】（2）			
	5	ぼうしをかぶって【工作】（6） ねん土をギュッポン【立体】（4）			
	6	まどをひらいて【工作】（6） ひかりのプレゼント【造形遊び】（2）			
	7	つないでどンドン【造形遊び】（2） ふくろちゃん【立体】（2）			
	8 9	<u>たのしいこと見つけた【絵】（6）★国語</u>			
後 期	10	<u>ケーキやさん【立体】（8）</u>			
	11	うつしてみると【絵】（10）			
	12	どうぶつさんのおうち【立体】（4）			
	1	びじゅつかんにいこう【鑑賞】（2） つくってあそぼう【工作】（6）★生活			
	2	おはなし大すき【絵】（4）★国語			
	3	ストローピョコパタ【工作】（4）			
時数合計	7 0				
	造形遊び	6	絵	2 1	
	立 体	1 8	工 作	2 2	
	鑑 賞	3	★他教科等との関連		

表3. 第3学年

学期	月	題 材【領域】(時数)		
前 期	4	オリエンテーション【鑑賞】(2)		
		大すき自分の線と色【絵】(2)		
		切ってけずって【立体】(2)		
	5	楽しくつかおう【工作】(8)		
	6	広がれつながれ【造形遊び】(2)		
		こんなことがあったら【絵】(4/6)		
	7	こんなことがあったら【絵】(2/6)		
	8	ふわりクルクル風パワー【工作】(2)★理科		
		ふわ～を使って～光と風をとらえよう～【造形遊び】(2)		
9	クミクミックス【造形遊び】(2)			
後 期	10	ガラスびんのへんしん【立体】(6)		
	11	はんをつかって【絵】(8)		
	12	トントンワールドの生き物【工作】(6)		
	1	びじゅつかんに行こう【鑑賞】(2)		
		やさしいモンスター【立体】(4)		
	2	ものがたりのせかい【絵】(4/6)★国語		
3	ものがたりのせかい【絵】(2/6)★国語			
時数合計	60			
	造形遊び	6	絵	22
	立 体	12	工 作	16
	鑑 賞	4	★他教科等との関連	

表4. 第4学年

学期	月	題 材【領域】(時数)		
前 期	4	オリエンテーション【鑑賞】(1)		
		形や色を楽しもう【絵】(1)		
		ねん土のひもから【立体】(4)		
	5	すてきなペーパーショップ【絵】(6)		
	6	コロコロガーレ【工作】(4)		
		ぬのでかざろう【造形遊び】(2)		
	7	ここにはきつといるよ【鑑賞】(4)		
	8	9	つないでいくと【造形遊び】(4)	
後 期	10	ほってすって【絵】(6/10)		
	11	ほってすって【絵】(4/10)		
		とび出すメッセージ【工作】(4/10)★総合		
	12	とび出すメッセージ【工作】(6/10)★総合		
	1	美術館に行こう【鑑賞】(2)		
		絵と言葉で表そう【絵】(4)		
2	それ行けたんけんたい【立体】(4/8)			
3	それ行けたんけんたい【立体】(4/8)			
時数合計	60			
	造形遊び	6	絵	21
	立 体	12	工 作	14
	鑑 賞	7	★他教科等との関連	

表5. 第5学年

学期	月	題 材【領域】(時数)		
前 期	4	オリエンテーション【鑑賞】(1)		
		形や色を楽しもう【絵】(1)		
		え?名前で絵～マイシンボルマーク【絵】(2)		
	5	ねん土の板から【立体】(4)		
		板を切りぬいて【工作】(2/8)		
	6	板を切りぬいて【工作】(6/8)		
	7	風が見えたら【造形遊び】(2)		
	8	9	刷り重ねて表そう【絵】(6/10)	
後 期	10	刷り重ねて表そう【絵】(4/10)		
	11	アニメーションをつくろう【鑑賞】(2)		
		線を集めて【立体】(4)		
	12	液体粘土からはじめよう【造形遊び】(4)		
	1	美術館に行こう【鑑賞】(2)		
		使って楽しい焼き物を【工作】(2/6)		
2	使って楽しい焼き物を【工作】(4/6)			
3	想像のつばさを広げて【絵】(4)★国語			
時数合計	50			
	造形遊び	6	絵	17
	立 体	8	工 作	14
	鑑 賞	5	★他教科等との関連	

表6. 第6学年

学期	月	題 材【領域】(時数)		
前 期	4	オリエンテーション【鑑賞】(1)		
		形や色を楽しもう【絵】(1)		
		身近な環境で【造形遊び】(2)		
	5	タワーをたてよう【立体】(6)		
	6	板から何が【工作】(8)		
	7	光のハーモニー【造形遊び】(2)		
	8	9	味わってみよう、日本の美術【鑑賞】(1)★	
			社会墨から感じる形や色【造形遊び】(2)	
	後 期	10	墨から感じる形や色【絵】(4)	
11		表し方をくふうして【絵】(8)		
		チャレンジ! ボールコースター【工作】(4)		
1		美術館に行こう【鑑賞】(2)		
		表現にこめた思い【鑑賞】(2)		
2		心に浮かんだ場面【立体】(5/7)		
3	心に浮かんだ場面【立体】(2/7)			
時数合計	50			
	造形遊び	6	絵	13
	立 体	13	工 作	12
	鑑 賞	6	★他教科等との関連	

## 2-1-1 年間指導計画作成のポイント

### ①〔共通事項〕の指導について

表現及び鑑賞の各活動において、〔共通事項〕に配慮した指導計画を作成するよう留意した。〔共通事項〕は図画工作科のすべての学習に含まれるが、特に意識して指導する〔共通事項〕を各題材で計画しておくことが大切である。題材ごとの詳細については、「3. 具体的な教材」で述べる。

### ②「A表現」（2）の指導に配当する時数について

「A表現」（2）の工作に表すことの内容に配当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に配当する授業時数とおよそ等しくなるように計画するようにした。『小学校学習指導要領解説 図画工作編』にもあるように、手や体全体を働かせてものをつくる機会が減少していると言われる現在、工作に表す活動の充実が求められているからである。

### ③「B鑑賞」の指導について

「B鑑賞」は表現と関連付けて指導することが大切である。そのため、「A表現」の指導に適宜関連させて行うようにする。また、指導の効果を高める必要がある場合には、独立して鑑賞の題材を扱うようにした。その際は、子どもたちの関心や実態を十分に考慮して行うようにしたい。

### ④共同してつくりだす活動について

「A表現」の指導において適宜共同して製作する内容を取り入れるようにした。共同して表現することは、様々な発想や表し方があることに互いに気づき、表現や鑑賞を高め合うことにつながる。行う際には、一人一人が共に活動しているという実感がもてるように工夫し、効果的に取り入れることが大切である。

### ⑤生活科や他教科等との関連について

特に低学年においては、表現の特性や傾向を考慮し、生活科を中心とした他教科等との関連を図ることが大切である。表1～6では、他教科等と関連して行う題材に★を記している。例えば、第1学年「プレゼントをどうぞ」は、1枚の紙を折って貼り合わせ箱をつくる題材である。1月に図画工作科で製作した箱を、2月の生活科でお世話になった家族や友達へプレゼントする。このように、他教科等の関連的な題材と時期を合わせて行うことで、子どもたちにとってより意味のある活動になるように工夫した。

## 3. 具体的な教材

### 3-1 第1学年、「A表現（1）造形遊び」

#### 3-1-1 題材名「えのぐをつかって」（2時間）

#### 3-1-2 指導のポイント 特に意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 「広い場所」、「共同絵の具の使用」などの環境の工夫で、初めて扱う絵の具の学習に取り組みやすいようにする。
- (2) 1時間目は、九つ切りの画用紙に一人一人がいろいろな線を描く活動を行う。「ながーい、ながーい線うまくかけるかな」、「次はくるくる線だよ」等、イメージをふくらませる声かけをしながら、楽しい雰囲気の中で、いろいろな太さの線を描かせるようにする。線
- (3) 2時間目は、机いっぱい広げた長い大きな紙に、友達と一緒に描く活動を仕組む。描くテーマは自由でもよいが、何らかテーマを決め、はじめに実演して見せることによってイメージが広がりやすい。（テーマ例「うみのせかい」、「もりのみち」等）形色
- (4) 完成した紙はよく見える場所に掲示し、楽しかった活動や自分たちが描いた絵を振り返ることができるようにする。



写真1 1年「えのぐをつかって」

### 3-2 第1学年、「A表現（2）工作に表す活動」

#### 3-2-1 題材名「プレゼントをどうぞ」（6時間）

##### 3-2-2 指導のポイント 特に意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 導入（1時間）で、白い画用紙から箱をつくる試しの活動を行う。その際、つくり方を教え合ったり教師が実演したりしながら、全員が確実に箱をつくることができるようにする。
- (2) プレゼントする相手の好きな形や色などを交流することで、相手に合う形や色を意識してつくることができるようにする。形や色の見本は常に掲示し、参考にできるようにする。形 色
- (3) 「手紙をつける」、「色紙で飾りをつくる」、「ペンで模様や絵をかく」等の様々な飾りの工夫を製作途中に適宜紹介することで、イメージをふくらませて製作することができるようにする。形 色
- (4) 生活科の時間に、完成したプレゼントを相手に送る。感想をもらったり喜んでもらったりすることで、つくることへの喜びや楽しさを感じることができる。参観日に行う等、関連させて行うとよい。

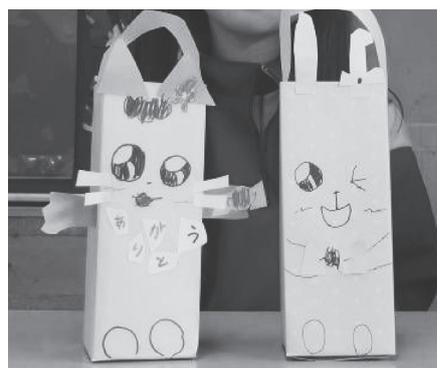


写真2 1年「プレゼントをどうぞ」

### 3-3 第2学年、「A表現（2）絵に表す活動」

#### 3-3-1 題材名「たのしいこと見つけた」（6時間）

##### 3-3-2 指導のポイント 特に意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 「夏休みの思い出」や「2年生になって楽しかったことやおもしろかったこと」を紹介し合い、絵に描きたいテーマを決める。場面の様子について、一人一人と対話する時間をつくるようにする。
- (2) 画用紙の大きさや色は、描きたいテーマによって選ばせる。描画材料は、パス・色鉛筆・カラーペン・（必要に応じて）絵の具。(1)での見取りを生かして個別にアドバイスすることが大切である。色
- (3) 製作の終末または導入で互いの作品を見合う時間をとる。「自分の描いたことを友達に教えてあげてね」、「どんなことを描いたか絵を見て友達に聞いてみてね」等と声をかけながら、教師も一緒に鑑賞することが大切である。形 色

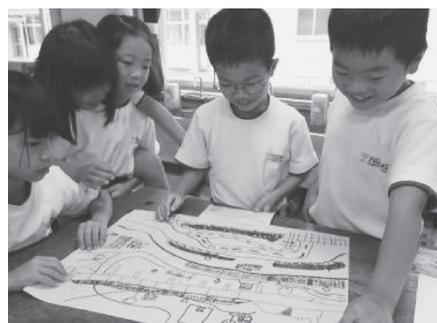


写真3 2年「たのしいこと見つけた」

### 3-4 第2学年、「A表現（2）立体に表す活動」

#### 3-4-1 題材名「ケーキ屋さん」（10時間）

##### 3-4-2 指導のポイント 特に意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 導入で、実際のケーキの写真や教科書掲載作品を見せ「食べたくなくなるようなケーキ」を発表し合う。その際、ケーキの形や色を問い返し、作品へのイメージをふくらませ、簡単にスケッチさせる。形 色
- (2) 製作はじめに、カラー粘土のつくり方を全員で共通体験し、きれいに色をつくるポイントをおさえる。
- (3) (1)の見取りを参考に、使用しそうな材料をある程度準備しておく。子ども自身にも準備させ、意欲的に取り組むことができるようにする。
- (4) つくりたいケーキに合わせて使う材料を工夫している子どもの作品を紹介し、材料の選び方や使い方を意識できるようにする。



写真4 2年「ケーキ屋さん」

組合せ

(5) 製作途中に、適宜、形や色に着目し、互いに見合う時間をとる。

形 色

### 3-5 第3学年、「A表現（1）造形遊び」

#### 3-5-1 題材名「ふわ～を使って～光と風をとらえよう～」

（2時間）

#### 3-5-2 指導のポイント 特を意識して指導する〔共通事項〕

- (1) ビニル袋やテープなどに送風機の風を当てて、揺れる様子を鑑賞しながら、遊ぶ活動を設定する。その後、材料を組み合わせ、思いついたことを表現させる。形
- (2) (1)でつくったものを屋外に持ち出し、風を捕まえる活動を設定する。天気が良いと、ビニル袋に描いた模様が地面に映り、光も利用した遊びができる。色



写真5 3年「ふわ～を使って」

### 3-6 第3学年、「A表現（2）工作に表す活動」

#### 3-6-1 題材名「トントンワールドの生き物」（6時間）

#### 3-6-2 指導のポイント 特を意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 小集団で長い木材に様々な長さの釘を打ったり、釘を使って木片を打ち付けたりする活動を設定し、釘を打つ楽しさを味わわせたり、打ち方のコツを見出させたりする。形 組合せ
- (2) (1)でできた木材を立てて展示し、トントンワールドと名付ける。「この世界に住んでいる生き物を、木片を組み合わせでつくろう」と投げかけることでイメージをもたせるようにする。

形 組合せ



写真6 3年「トントンワールドの生き物」

### 3-7 第4学年、「A表現（2）絵に表す活動」

#### 3-7-1 題材名「すてきなペーパーショップ」（6時間）

#### 3-7-2 指導のポイント 特を意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 前半（4時間）は、「ふきながし」、「マーブリング」、「にじみ」、「スパッタリング」、「あわせ絵」等、様々な技法を全て試し自分の「すてきなペーパー」をたくさん作る時間にする。うまくするコツを適宜紹介させ、板書することで、参考にできるようにする。
- (2) (1)の様子を映像や写真に撮っておき、個別や全体で適宜提示することで、さらに挑戦しようとする意欲をもたせる。
- (3) 後半（3時間）は、いろいろなペーパーを見合い、よさを交流した後、それらのペーパーを使い作品をつくる。その際、友達とペーパーを交換してもよいことにする。また、使わなくなった紙を入れる箱を準備し、誰もが自由に使えるようにする。
- (4) 模様を上手く生かして製作できるように、「上手く生かしている子どもの作品を紹介する」、「一つの模様から何を思い浮かべるか全体に問いかけ想像させる」などして、イメージがふくらむよう支援する。形 色 組合せ

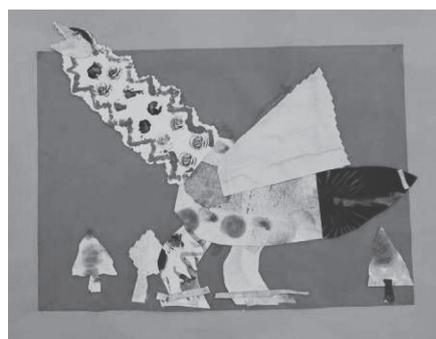


写真7 4年「すてきなペーパーショップ」

### 3-8 第4学年、「B鑑賞」

#### 3-8-1 題材名「ここにはきっといるよ」（4時間）

#### 3-8-2 指導のポイント 特を意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 教師のつくった参考作品や校内の様々な場所の写真を見せることで、活動への意欲や見通しをもたせる。**形** **色**
- (2) グループで1台デジタルカメラを準備し、製作したキャラクターを各場所に置いて撮影させる。その際には、グループ内で「置き方」や「撮る角度」について話し合いながら行わせる。**配置** **角度**
- (3) 自分なりによいと思う写真を2枚選ばせる。その2枚を比較し、「どちらの写真がいいか」についてペアグループの友達に意見をもらう活動を取り入れる。  
※(2)や(3)の活動によって、自分と仲間の作品を比較し、自分の撮り方を見直すことができる。
- (4) 終末には発表会を行い、互いの作品を見合う。この際、できるだけ大きな画面に一人一人の作品を映し出し、キャラクターの名前や特徴などを紹介するようにすると、意欲も高まり見方も深まる。



写真8 4年「ここにはきつといるよ」

### 3-9 第5学年、「A表現(1)造形遊び」

#### 3-9-1 題材名「液体粘土からはじめよう」(4時間)

#### 3-9-2 指導のポイント **特に意識して指導する** [共通事項]

- (1) 液体粘土を段ボールに垂らして、手で触ることで、その質感を感じさせるようにする。
- (2) 液体粘土にトイレットペーパーを少しずつ混ぜて質感の変化を確かめさせる。
- (3) 紙や布、砂などの材料と組み合わせてできる表面の凸凹を手で触って、思いついた心象風景を表現させていくようにする。**形**  
**色** **組合せ**
- (4) 互いの凹凸の様子を見たり触ったりしながら、感じたことを交流させることで、イメージをもつことができるようにする。**形**  
**色**



写真9 5年「液体粘土からはじめよう」

### 3-10 第5学年、「A表現(2)絵に表す活動」

#### 3-10-1 題材名「え?名前で絵~マイシンボルマーク~」

(2時間)

#### 3-10-2 指導のポイント **特に意識して指導する** [共通事項]

- (1) 校章の鑑賞を行い、形を意図的に変形させた文字に気付かせるとともに、その意図を探らせる。**形**
- (2) 広告やパンフレットなどの中から、企業や団体などのロゴマークを見付け、その形や色にこめられた意味を話し合わせる。**形**  
**色**
- (3) 自分の名前を漢字、仮名、ローマ字などで表し、形や色、組合せを工夫して、自分なりのシンボルマークをつくらせる。**配置**  
**角度**
- (4) シンボルマークをシールにし、持ち物に貼って使わせることで、作品に愛着をもたせるようにする。

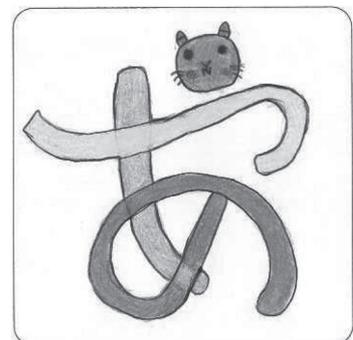


写真10 5年「え?名前で絵~マイシンボルマーク~」

### 3-11 第6学年、「B鑑賞」

#### 3-11-1 題材名「表現にこめた思い」(2時間)

「美術館に行こう」(2時間)

### 3-11-2 指導のポイント 特に意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 児童にとって馴染みのある郷土の詩人まど・みちおの絵画作品を採り上げることで、作品への興味・関心を高める。
- (2) 抽象的な作品を鑑賞の対象とし、形や色を基に感じたことを交流させていくことで、多様な見方や感じ方に気付かせるようにする。形 色 構図
- (3) 感じたことを交流した後、題名を提示することで、自分たちの感じ方と作者の思いをつなげていけるようにする。
- (4) 周南美術博物館の収蔵作品の鑑賞を取り入れることで、作品をより身近に感じさせ、実物の色や線から感じたことを交流させるようにする。形 色 構図



写真11 6年「表現にこめた思い」

### 3-12 第6学年、「A表現（2）立体に表す活動」

#### 3-12-1 題材名「心に浮かんだ場面」（7時間）

### 3-12-2 指導のポイント 特に意識して指導する〔共通事項〕

- (1) 動きを表現するという課題を与え、思い付いた場面を表現させる。
- (2) 自分のイメージにふさわしい材料を自分で用意させるようにすることで、児童一人一人の感性を大切にする。
- (3) 動画のキャプチャー画像を提示し、動きのある表現の参考となるようにする。色 形 奥行き



写真12 6年「心に浮かんだ場面」

## 4. 教材開発と学習指導要領

図画工作科において、題材を設定する際、大切なことは、児童の実態を把握した上で、身に付けさせたい資質や能力を挙げ、それにふさわしいテーマ、材料、用具を提示することである。ここでは、児童の発達の段階に十分配慮する必要がある。但し、技術を教えることが第一ではなく、児童の発想が広がるよう、テーマ、材料、用具との出会いを工夫していくことが重要である。

また、児童の表現と鑑賞は常に行き来するものであるという認識をもち、それぞれの領域において共通して働く資質や能力、つまり〔共通事項〕を意識して題材を設定する必要がある。本稿の実践事例でも示したように、表現の活動にも鑑賞の場面を取り入れながら、形や色などをとらえる能力を育て、それらを基にイメージをもてるようにしていく必要がある。鑑賞の活動の中では、一人一人がとらえたイメージを、言語を使って他者と交流させながら、見方や感じ方を広げていく必要がある。教科書の題材の中には、鑑賞で抱いたイメージを絵や立体で表すなどの活動も紹介されている。造形的な表現を視覚言語ととらえて、互いの思いを交流させているのである。このように、題材の過程に表現や鑑賞の活動をバランスよく設定していくことが大切であると考える。

## 参考文献

文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作科編』2008

『図画工作1・2上』日本文教出版, 2011

『図画工作1・2下』日本文教出版, 2011

『図画工作3・4上』日本文教出版, 2011

『図画工作3・4下』日本文教出版, 2011

『図画工作5・6上』日本文教出版, 2011

『図画工作5・6下』日本文教出版, 2011